

# 「大阪都」 Q&A

橋下徹大阪市長と「維新の会」が、  
何が何でも来春(2015年)に「住民投票」をおこない、  
「大阪都」をつくろうとゴリ押しです。  
しかし、「維新の会」以外のすべての政党はこれに反対。  
府民、市民のあいだでも、「ようわからん？」  
「なんでそんなに急ぐ？」と疑問の声がいっぱいです。  
橋下市長が焦る「大阪都」っていったい何？  
Q&Aで見ってみました。

- Q1 そもそも「大阪都」って？ ..... P2
- Q2 議会と「対立」というが？ ..... P2~3
- Q3 「住民投票で決めさせろ」って？ ..... P3
- Q4 「大阪都」になれば大阪が豊かに?! ..... P4
- Q5 暮らしはどうなる？ ..... P4~5
- Q6 なんで「湾岸区」？「大正三軒家町」？ ..... P5
- Q7 「二重行政」がなくなり、財政がよくなる？ ..... P6
- Q8 「特別区」は住民に身近？ ..... P7
- Q9 いまの大阪市よりマシって本当？ ..... P8
- Q10 大阪の発展には何が必要？ ..... P8

# 「大阪都」をめぐる動きは？

そもそも「大阪都」って？

## Q1 見抜かれはじめた ウソとごまかし

「大阪都」をいいたしたのは、橋下知事当時、2010年1月のことでした。

その権限、財源を「二人のリーダー」に集めるという構想で

した。ところが、2011年の

知事・市長ダブル選挙では、

「維新の会」は「大阪市はバラバラにしません」「24区は色とり

どりに」などというビラを配布。それで勝利すると、「大阪

5つに分ける

話しが違う!

つぶして5区に分割

「大阪市はつぶしません」

2011年ダブル選挙でのベテן・ピラ

橋下市長は、「大阪都」づくりは2011年ダブル選挙で「民意を得た」といいますが、ウソです。「維新の会」の法定ビラには「だまされないで下さい。大阪市はなくしません」「敬老パスも維持します」とウソ八百。誰もが目に焼き付けています。

都」は「民意」を得たといつて、ゴリ押ししてきました。

「大阪都」になれば、①大阪が「国際都市間競争に勝てる」、②「二重行政」がなくなり、年間4000億円浮く（松井知事）、③「特別区」になれば住民サービスがよくなる——こんな宣伝文句を並べます。

しかし、どれも根拠はありません。多くの府民、市民が

そのでたらめさを見抜きつつあります。「大阪都」を争点にした堺市長選挙では「大阪都反対」をかける竹山市長が大差で勝利。その後「維新の会」からも「造反」が続ぎ、府議会でも過半数を割りました。

## Q2

### 議会と「対立」というが？ 法違反、ルール違反で つくった「協定書」

「対立」の最大の問題は、全会派が参加して「大阪都」構想を議論してきた「法定協議会」

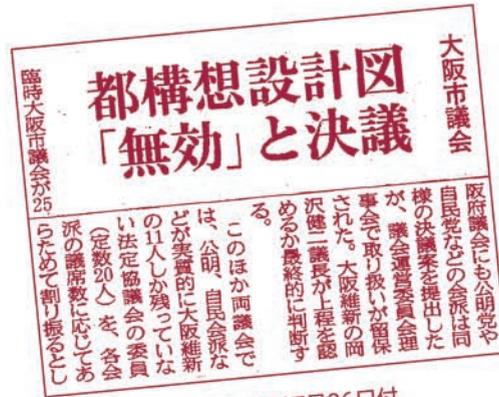
から、「維新の会」が、異論を唱える自民、公明、民主、共産4野党の委員をすべて排除したことにあります。そして7月

以後、「維新の会」だけで会議を強行し、「協定書」を「議決」してしまいました。

前代未聞のできごとに、大阪府議会、大阪市会とも、「法定協議会を正常化させよ」と、過半数の議員連名で臨時議会

開会を請求しました。ところが、松井知事、橋下市長は、地方自治法を踏み破り、開きませんでした。新藤総務相(当時)は「議会を開かないことは明らかに法律違反」としています。

4野党は民主主義を守る立場で一致して共同のたたかいをすすめています。大阪府議会、大阪市会とも、過半数で「協定書は無効」とする決議を採択。法定協議会を正常な形に戻して、議論することを求めています。



〔大阪日日〕7月26日付

### Q3

「住民投票で決めさせる」って?

## 4野党と府民・市民 共同の力で暴挙ストップを

橋下市長らは、違法な形で「協定書」を「議決」しながら、「総務相が認めてくれた」「あとは住民投票。議会はジャマす

るな」と叫びます。

しかし、新藤総務相(当時)さえ、「法律は、議会が開かれなるとか、法定協メンバーが通常とは違う状態になることを想定していない」「法令を順守し、関係者間での真摯(しんしん)な議論に努めてもらいたい」と明言しています。

うのは「大阪都」にするかどうかではなく、「区割り」だ、否決されても「区割りを変えまくる」と発言。市民が判断できるのは「区割り」だけだと言うのです。また「大阪の統治機構の改革」などといいながら、初めから大阪市以外の府民は「住民投票」の対象外です。

ところが橋下市長らは「協定書」が否決されると、「専決」で「住民投票」という構えをみせています。さらに重大な法律違反です。

「住民投票こそ民主主義」といいますが、橋下市長は「昨年8月の会見で、住民投票で問

無法をかさねた上に、議会での多数意思を無視して住民投票をする——どこに「民主主義」があるでしょうか。こんな暴挙に、市民の手を貸すわけにいきません。4野党と市民共同の力でストップさせましょう。

### 「専決」って

地方自治法で知事や市長の「専決」がありうるとしたのは、「議会が成立しないとき」「会議を開くことができないとき」「特に緊急を要するとき」「議会が議決すべき事件を議決しないとき」に限られます。今回の「協定書」の場合、どのケースにもあてはまらず、「専決」は明瞭な違法です。



〔朝日〕9月3日付



# 「大阪都」でくらしは？ 大阪経済は？

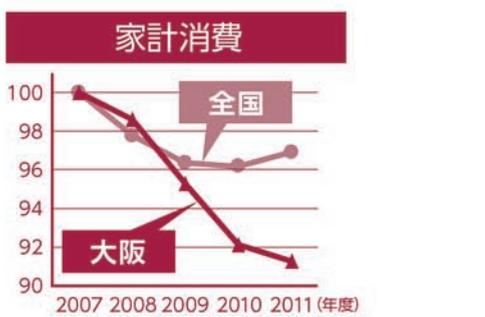
## Q4

「大阪都」になれば大阪が豊かに?!

カジノとリニア頼みの  
とんでもない「成長戦略」

「維新の会」は「大阪都」で「大大阪として発展する」とか、「国際エンターテイメント都市」にするなどいいいます。しかし、その中身は「2025年に万博」をやるとか、「フオーミュレエ（電気自動車の公道レース）の誘致」「リニアの大阪同時

## 維新府政下で落ち込む府民のくらし 2007年度=100



安倍政権による消費税増税、年金の切り下げ、ここ10年で8%も下がった府民の賃金など、くらしを何とかしてほしいという願いは切実です。ところが、「大阪都」構想には、くらしを守るための最大の

## Q5

くらしはどうなる?..

もうかる大企業、  
落ち込む庶民のくらし

カナメー働く人の賃金をあげることや大阪経済の主役・中小企業を発展させるための方策は何もありません。あるのは大企業がいかにもうけやすい大阪をつくるかだけです。この4年、大阪府・市政が

開業「なにわ筋線」などです。外国人をよびこんだり、大企業がもつともうかるような仕組みづくりばかり。しかも、財源は、「大阪市営地下鉄民営化」でつくるといいます。結局、大阪市の財源を吸い上げて、大型開発に投じたいだけです。

おまけに「カジノ誘致」が「大阪都」の「目玉」とは！既に日本は世界一のギャンブル大国で国も依存症患者は536万人と発表。「経済効果よりマイナス面」と報道されています。経済も人間性もこわすバクチ頼みの成長戦略など、とんでもありません。

# くらし・教育・中小企業に大なた 維新の府政・市政

## 橋下市政で

年5億円削れると  
市民病院廃止

維持しますと言ったのに  
敬老パスの有料化

5年間で235億円黒字なのに  
国保料を連続値上げ

公立幼稚園は民業圧迫と  
全公立幼稚園の  
民間への売り飛ばし計画

## 橋下知事以来の維新府政で

命を守るべきなのに  
救命救急センター  
補助金削減

子どもの安全は府の仕事でないと  
学校警備員補助金を廃止

大阪経済活性化の要なのに  
ものづくり支援予算  
6割削減



「維新政治」になってから、市民病院の廃止や地下鉄・市バスの敬老パス有料化をはじめ、くらしにかかわる施策が次々切り捨てられてきました。  
大阪の大企業はどんどんも

うけをためこんでいるのに、府民のくらしの落ち込みは、全国どこよりもきびしいものがあります。  
「大阪都」では、こうした格差と貧困がさらに広がるばかりです。



## 「都」の名称はつかえない?!

法律にも、「維新」の設計図にも、「大阪都」はでてきません。「都」は天皇が住む東京だけ(石原慎太郎氏)などの議論もあり、「府」のままです。名前も、中身も、詐欺的です。

「維新の会」は、大阪市を廃止して、「中央区」「東区」「北区」「南区」と「湾岸区」をつくるといいます。住之江区は、真つ二つにして、「南区」と「湾岸区」に。なぜそうするのか。誰と相談して決めたのか。いっさい不明です。

さらにあきれるのが、「町名変更」です。「いまの24区はなさない」というペテンをとおすために、すべての町名の頭に、いまの「区名」をつけるというのです。たとえば「湾岸区」の「西淀川御幣島町」「大正三軒家町」、「中央区」の「西成天下茶屋町」、「南区」の「住之江西住之江町」…。

地名には、歴史と伝統、住民の愛着や郷土愛が込められています。「維新の会」の「上から目線」でのおしつけなど、もつてのほかです。

## Q6

なんで「湾岸区」? 「大正三軒家町」?  
上から目線の「区割り」と  
町名のおしつけ

# Q7

「二重行政」がなくなり、  
財政がよくなる？

## 「大阪市のままなら大赤字、 大阪都なら大黒字」のウソ

かつて松井知事は「府・市  
二重行政がなくなれば年間  
4000億円浮く」と発言  
しました。

ところが、真つ赤なウソ。  
「地下鉄民営化」など「二重行  
政」とは関係のないものを除

くと、浮く額はせいぜい7億

円です。逆に、「特別区」をつ

くるコストはばく大で、国の

審議会では「特別区になると、

より厳しい財務事情に追い込

まれる」「いばらの道」と専門

家が指摘しています。

### 消え去った「大阪市なら大赤字、 大阪都なら大黒字」パネル



橋下市長が「出直し市長選挙」で、「大阪  
都構想はこの1枚だけ、わかればいい」とし  
ていた「大阪市なら大赤字、大阪都なら大  
黒字」パネル。ウソがばれ、すっかり姿を消  
しました。ここにも「靈感商法」なみの詐欺  
的な手口がうきぼりです。

### 大事な施設・施策も“二重行政”といって目の敵にする維新の会

大阪府		大阪市
障がい者交流促進センター	福祉	障がい者スポーツセンター
府立急性期・ 総合医療センター	医療	住吉市民病院
府立公衆衛生研究所	保健・環境	市立環境科学研究所
府立中央図書館	文化	市立中央図書館
府立体育館	スポーツ	市立中央体育館
ドーンセンター	男女共同参画	クレオ大阪
マイドーム大阪	中小企業支援	産業創造館
大阪府中小企業 信用保障協会	中小企業融資	大阪市信用保証協会
府立大学	大学	市立大学

それぞれ役割分担するなどしておりムダとは言えません。

また橋下市長は「大阪市の  
ままなら2300億円の赤  
字、大阪都なら2900億  
円の効果」と宣伝しました。  
これも大ウソです。橋下市  
長が出し直した資料では「大  
阪市のまま」でも「33億円の黒  
字」だとなっています。  
ウソがばれると、橋下氏は  
「財政効果なんていうのは意味  
ない」(7月の会見)と言い出す  
始末です。



# Q8

「特別区」は住民に身近?

## 財源も、権限もない 貧弱な「特別区」

「維新の会」は、「特別区」ができれば、「身近なサービスが充実する」といって、「北区になれば待機児童ゼロに」「南区になればLRT(次世代型路面電車)を導入する」「中央区では西成地区を官庁街化する」「東区は防犯カメラを10倍に」などと宣伝しています。

しかし、「特別区」には、そんな権限と財源が与えられません。

①「国民健康保険」「介護保険」など、くらしに直結する施策は、全「特別区」にまたがる一つの団体(二部事務組合)が担います。「特別区」では保険料を下げたり、減免制度をつくることもできなくなります。福祉と自治が住民から大きく遠ざけられます。

②いまの大阪市の財源を「大阪都」に吸い上げてしまうため、「特別区」の財源はいまよりもやせ細ります。おまけに、特別区の新庁舎をつくらうとしており、それだけで555億円もかかります。「特別区」に財源が不足したら「都区協議会」で調整するといいますが、大きな権限をもっているのは「都」(大阪府)です。

「特別区」は、住民のくらしに直結する重要問題を自分で決めることができず、とてもまともな「自治体」とはいえないものです。

特別区は財源がなく  
いばらの道になるが...

政府の「地方制度調査会」  
での専門家の発言



### 100以上の大事な仕事が「特別区」 でなく「一部事務組合」に?

「大阪都」で100以上もの事務を、「特別区」ではなく、「一部事務組合」が担うことは大問題です。ここには議会のチェックも十分には働きません。大阪市を廃止して、5つの「特別区」が担うとばく大な費用がかかるために考え出したものですが、大阪市を廃止する弊害は、この点でもうきぼりです。

### ゆくゆくは堺も、吹田も、 東大阪も入れて「19区」に?

橋下市長は、「最初は大阪市を廃止し、5つの特別区にするが、堺、東大阪、吹田、豊中を『大阪都』に抱き込んで、大阪全体19区にする」と公言しています。堺市長選挙での市民の審判などこ吹く風。独善、独裁体質むきだしです。





# 大阪のゆきづまりを打開する道は？

いまの大阪市よりマシって本当？

## Q9

これまで失敗した  
大型開発、くらし切りすて  
がひどくなる

橋下市長は、旧WTCビルの

破たんなどを例に、「府と市が別々だから、こうなった」とか、「大阪市が大きすぎるから、議会もチエックできなかった」「大阪問題は問題があっても、いまの大阪市よりもまし」といいます。

しかし、「大阪都」は、「大阪市」を廃止し、政令市ならでの力を生かしてきざいできた到達をすべて投げ捨てます。

逆に、「大阪都」構想は、これまでのムダな巨大事業の背景にあった政府や関西財界の責任は不問にし、「大企業がもうけられる大阪」をめざします。

橋下市長が目玉にしている

カジノやリニア、閑空までの時間をわずか数分縮めるために何千億円もの費用を注ぐ、「なにわ筋線」などは、「維新の会」がこきおろすWTCなどのムダと同じ道です。

また「大阪都」は議会のチエックを限りなく弱め、「一人のリーダー」が、ほしいままに権限、財源を開発に注ぐ体制となります。

変えなければならぬのは、「制度」ではなく、「政治の中心」です。

## Q10

共同の力で、  
「維新政治ノー」  
くらし優先の府・市政に

大阪の発展には何が必要？

大阪のゆきづまりの打開は、

くらしと民主主義をこわす「維新政治」にノーをつきつけ、くらし優先、市民の声で動く政治を実現することです。

— 福祉、医療、教育の充実を府政・市政の「魂」としてよみがえらせる。

— 消費税ストップ、賃上げと人間らしい働き方の実現で庶民のふところをあたため、中小企業を振興する。「内需」を拡大してこそ、大阪の大企業も、経済も発展する。

— 自治体としての公的責任をつらぬく。首長と議会が自治

を広げる車の両輪に。府民・市民の声で政治を動かし、国にも、財界にも、き然とものをいう。

そのために、「大阪都ストップ、維新政治ノー」の大きな共同を發展させましょう。

### 府内の市長選では「維新の会」が6連敗

昨年(2013年)9月の堺市長選挙で「堺はひとつ、堺をつぶすな」をかけた竹山修身市長に敗れて以後、岸和田(11月)、貝塚(ことし1月)、豊中(4月)、泉南(5月)、交野(9月)と、「維新の会」は敗れるか、候補者をたてられませんでした。市民世論の大きな変化が、ここにも反映しています。